

志紀中学校だより

和力敬愛 (わりよくけいあい)

令和7年度11月号

校長 黒井 健之

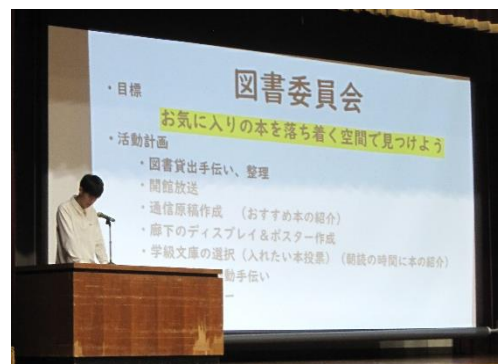
【1年生曾爾宿泊学習について】

10月30日(木)から1泊2日で奈良県にある国立曾爾青少年自然の家へ行ってきました。行きのバスの中では、バスレク実行委員が作成したビデオ(クイズ)で大盛り上がりでした。曾爾に到着し、昼食をとった後、班ごとに分かれてフォトテリングを行いました。班のメンバーで協力し、各ポイントを探し当て、クイズに答えるとともに指示された時間にゴールにたどり着けるよう動き回っていました。大自然を感じながらのフォトテリングに生徒たちは、普段の学校生活では気付けない自然の美しさや仲間の新たな一面を見つけ、互いに共感し合う豊かな時間となりました。夜には、キャンドルファイヤーを実施しました。キャンドルファイヤーでは、実行委員の生徒たちが、全員が楽しめるゲームを企画し、ルール説明や進行などを担ってくれました。緊張しながらも一生懸命に役割を果たす姿はとても頼もしく、会場全体が笑顔と拍手に包まれました。二日目は、野外炊飯を行いました。野外炊飯では、火起こし、食材の準備、調理、片付けまで、一人ひとりが自分の役割を責任持って果たそうと真剣に取り組む姿が見られました。声を掛け合いながら協力して進めることで、時間内においしいカレーを作り上げることができました。

最後に、出発式や解散式、曾爾での入所式や退所式では、学級代表が司会や進行を行い、行事全体の雰囲気を支える大切な役目を立派に務め上げました。生徒たちは、自然の中での活動や集団での生活を通し、仲間と協力する大切さ、自分の役割を責任持って果たすことの意義、そして一人では成し遂げられない達成感を実感しました。この経験で培った協働の力や思いやりの心を、これからの学校生活にも生かしてほしいと願っています。

【後期専門委員会活動報告会について】

11月4日(火)に後期専門委員会活動報告会として、各専門委員会の目標や活動内容等について報告を行いました。各学年や各専門委員会の報告では、それぞれの委員会等が主体的に改善点を整理し、後期の具体的な取組み方針や目標が示されました。今後は、全校生徒が互いに支え合いながら、学校生活をより豊かなものにしていけるよう、計画的かつ協力的に活動を進めてくれることを期待しています。



【「ストップいじめ」ハ尾っ子ミーティングについて】

11月11日(火)に「ストップいじめ」ハ尾っ子ミーティングに志紀小学校児童会の児童とともに参加しました。こども・いじめ何でも相談課や市教委人権教育課の方々といじめが起こる理由、いじめが起きないようにどうしたらいいのかという話題で交流しました。本校生徒会役員からは、志紀中学校で取り組んでいる「ユニバーサルデザインプロジェクト」や「いじめ予防学活」、「熱中フォーラムや反差別集会への参加」について報告しました。



【いじめ予防学活について】

10月末から11月中旬にかけて、各クラスでいじめ予防学活を実施しました。生徒会役員が中心となり、「日常で起こりうる「いじり」から「いじめ」への発展について考える。」「「いじり」から「いじめ」へとつながらないようにするために、必要なことを考える。」ことを目的に、各クラスで学級代表が授業者となり、考えを深めることを計画しました。授業では、動画教材を活用し、日常で起こり得る場面を題材に、グループでの意見交流を行い、互いの考えを深めました。「冗談のつもりで言った言葉でも、言われた側が傷ついていることがある」「気づいたときに声をかける勇気が必要だ」という意見が出され、「言葉にする前に一度立ち止まって考える」「された側の気持ちで想像する」といった、具体的な行動を意識した話し合いが進められました。まとめとして、各クラスにおいていじりがいじめに発展しないためにクラスで守ることを決めました。今後は、各クラスの決定事項を記載し、校内に掲示する予定です。今回の取り組みを通して、自分や仲間の言動について振り返り、クラス全体で考えを深める時間となりました。今後も、「人にやさしい」「人がやさしい」「すべての人が大切にされる、笑顔あふれる学校」をめざし、日々の学校生活の中で実践につなげてくれることを期待しています。

